

日本の平和を守る気持ちは一緒ではないでしょうか

自衛隊員と家族のみなさまへ



市議団長・県政対策委員長

井坂しんや

な日本にならないよう、自衛隊員のみなさんの人権と命を守り、みなさんが今までと同じように安心して任務を果たすことができるよう頑張ります。もし、こうした場合のご心配やご相談があれば、私たち日本共産党は、みなさんの立場にたって応援を致します。

日本共産党の政策と見解を紹介します。

日本は憲法九条の立場で戦後70年間「戦争しない日本」として、自衛隊創設から61年間一人も戦死者を出したことがない世界でもまれな国です。世界の平和と安全は、軍事力行使ではなく、憲法九条の立場で話し合いを基本にした平和外交でこそ守れるのではないのでしょうか。日本共産党は、戦前のような日本にならないよう、自衛隊員のみなさんの人権と命を守り、みなさんが今までと同じように安心して任務を果たすことができるよう頑張ります。

日本共産党は、憲法九条を守りぬぎます

集団的自衛権に関する世論調査

- 1月19日「毎日新聞」
集団的自衛権の行使について
「賛成」37% 「反対」50%
- 12月26日「日本経済新聞」
集団的自衛権の行使に関する法整備に
「賛成」34% 「反対」48%
- 12月1日「朝日新聞」
集団的自衛権を使えるようにしたことを評価しますか
「評価」32% 「しない」50%

特に、実際銃をもって海外出動を命令される自衛隊員とその家族のみなさんの心中・不安はいかばかりでしょうか。「祖国の平和には命をかけるが、他国の戦争するために入隊したのではない」…などの声が聞こえて来ます。

未曾有の東日本大震災など多くの災害救援活動（大島や広島市の土砂流出、御岳山噴火…）で自衛隊のみなさんは大きな貢献をしてきました。しかし、安倍政権は、昨年7月に集団的自衛権にかかわる閣議決定を強行、いまその法制化を急いでいます。国民のなかに大きな不安が広がっています（左記、世論調査）。それは、他国が行う戦争に自衛隊を出動させ、「海外で戦争する国」、殺し殺される国にしようとしているからではないでしょうか。海外で

他国の戦争のために、海外へでかけることは不安です

武器使用「新3要件」 集団的自衛ではなく「集団的侵略」になる危険

2月17日の衆院本会議の代表質問で、日本共産党の志位委員長は、「米国が違法な先制攻撃を行った場合でも『新3要件』を満たしているか」とたどしました。首相は「いかなる場合でも『新3要件』と答え、発動を否定しませんでした。発動すれば『集団的自衛ではなく、集団的侵略そのもの』ではないでしょうか。

安倍政権の憲法九条破壊、「海外で戦争する国」への動きに…

自衛隊員と家族の思いは？

- 自衛隊に入ったのは災害救助など社会貢献したくて入隊しました。
- 入隊は、祖国の平和を守る事が目的です。
- 日本が攻撃されてもいけないのに戦争できませんか？ 私は絶対イヤです。
- 父「他国の戦争に息子は送り出せない」。



2014年4月16日放映 NHKクローズアップ現代 「イラク派遣10年の真実」から

日本政府は、イラク戦争で2003年12月から2009年2月までイラク南部のサマーワを中心に給水、医療、道路補修、輸送などの任務のために、陸海空の自衛隊員のべ1万人を派遣しました。その実態をクローズアップ現代の放映内容から紹介します。

- 10年後に開かれた懇親会で。「いつテロがあるか緊張の中で過ごしました」「あそこは戦場に近かった」。
- 元統合幕僚長「先遣隊が、約10個近くの棺を準備して持っていった」。
- 宿営地へ、迫撃砲やロケット弾攻撃は13回あった。
- 帰国後28人がみずから命を絶った。

20代のAさんの母

「(息子が)『ジープの上で銃を構えて、どこから何が飛んでくるかおっかなかった、恐かった、神経をつかった』『夜の警備は交代しても寝れない状態だ』と言っていた。」

40代の隊員を亡くした妻

「亡くなった人数の何十倍の人が苦しんでいる…」

2008年4月17日、名古屋高裁は自衛隊のイラク派遣にたいして「憲法違反」の判決を下し、確定しました。



日本国憲法第九条

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

日本共産党 横須賀市会 議員団



ねぎしかずこ
市会議員



大村 洋子
市会議員



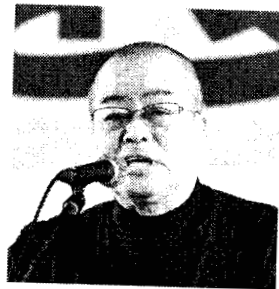
井坂なおし
市議団事務局長

若者の将来を守れ

15日、京都市内で開かれた日本共産党の府民大集会で日本共産党への期待を語った元海上自衛隊・海曹長の川村純雄さんの発言要旨を紹介します。

元海上自衛隊・海曹長

川村純雄さん



川村純雄さん＝15日、京都府立体育館

須賀にある海上自衛隊横須賀教育隊に入隊しました。それから退官するまでの30年間、使命の自覚、個人の充実、責任の遂行、団結の強化を肝に銘じ、国と国民を守るために海上自衛隊で勤務してきました。あるときは海上自衛隊の護衛艦に乗り、あるときは対潜哨戒機

の通信員、電測要員として、またあるときは、外国へ特殊通信員として随行し、各国を回ってききました。自衛隊を退官後も、予備自衛官として東北の震災、広島島の災害などにボランティアとして参加してきました。ただ、残念なことに昨年、集団的自衛権の問題が発生しました。今までは憲法9条という立派な柵がありました。集団的自衛権(行使容認の「閣議決定」)はその柵をまたいでしまいました。もし、大きなテロや戦争行為

があった場合には、政府は「集団的自衛権」を、(自衛隊を海外に派遣する)言い逃れに使うでしょう。今後、安倍政権を打倒できるのは共産党以外にないと思います。若い仲間も共産党しかないという考えを持っていきます。一番大切なことは、今の小さな子どもたち、将来ある若い人たちを守らなければいけません。――

「しんぶん赤旗」2月17日付けより

★真実を報道する「しんぶん赤旗」のご購読を!

日刊紙3497円・日曜版823円

☎046-851-1123 日本共産党三浦半島地区委員会